

第3次戸田市子どもの読書活動推進計画「子どもの読書活動推進のための方策」における各関係課の該当状況

(令和5年度実績)

No.	関係部署	基本方針1～4の該当の有無			
		基本方針1	基本方針2	基本方針3	基本方針4
1	生涯学習課	p. 4	—	—	—
2	教育政策室	p. 5	p. 31	—	p. 46
3	障害福祉課	p. 5	—	—	—
4	子育て支援課	p. 6	—	—	—
5	保育幼稚園課	p. 7	p. 32	p. 40	p. 46
6	児童青少年課	p. 8	p. 33	p. 40	—
7	図書館	p. 9-28	p. 34-38	p. 41-44	p. 47 - 48

基本方針1 発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供と充実

子どもが読書に親しむには、子どものあらゆる生活場面において、本を楽しむ時間を取り入れるための積極的な働きかけが必要です。これらは年代を超えて一律に実施できるものではないことから、0～18歳までを「乳幼児期」、「小学生期」、「中学・高校生期」の3期に分け、その発達段階に応じた施策を実施することで、より実効性のある施策を実現できると考えます。

(1) 施策1 乳幼児期における読書活動の推進

親が愛情いっぱいの語りかけをしたり、遊びを通じた様々な体験をしていくことで発達を促す時期であることから、特に「家庭での読書の習慣化」に繋がっていく取組が必要です。なお幼児期は集団生活を経験する中で、家族以外の人や動植物などとの関係を作りながら、好奇心、自立性、思いやり等を学んでいきます。

●方策1 本との出会い

妊娠期からの読み聞かせの啓発や赤ちゃんを対象としたブックスタート事業の拡充のほか、乳幼児を対象とした図書館司書やボランティアグループの読み聞かせ等による本との出会いの場をつくります。また、これらを様々な場所で展開できるよう、関係機関との連携に努めます。

●方策 2 本との触れ合い

市内の様々な公共施設等において、絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居などを継続的に取り入れ、乳幼児が本と触れ合える機会をつくります。

●方策 3 親子で本を楽しむ

市内の様々な公共施設等において、絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居などを継続的に取り入れ、乳幼児とその保護者に参加してもらう講座等を実施します。また保護者が読み聞かせ等を自発的かつ継続的に行えるように絵本の選び方や読み聞かせの方法を学ぶ講座等を開設します。

●方策 4 保育園等における取組

子どもは保育士等が読む絵本や紙芝居を通して、想像力を育み、豊かな言葉を心の中に取り込んでいきます。保育園等は、図書館と連携して子どもの発達段階に応じた図書を選定することが望まれます。また地域のボランティア等と連携し、子どもが絵本や物語に親しむ環境の整備を図ります。また保護者に対し、家庭での読み聞かせの重要性や読書の喜び等を知ってもらう取組を行います。

(2) 施策 2 小学生期における読書活動の推進

小学校低学年では読み書きができるようになってもしっかりと読む習慣を身に付けることが重要です。また小学校中学年では絵本から文字や活字への移行の時期に当たり様々な本に出会うことが重要です。さらに小学校高学年では語彙も豊かになり想像力も大きく発達する時期に当たり個性や関心に応じた読書指導、読んだ本の他者との共有などが重要です。したがって、以下のとおり小学生期を3つの年代に分け、それぞれの年代に合った読書活動の推進を図り、児童が読書習慣を身に付けることができるよう努めます。

●方策 1 小学校低学年 ～本を楽しむ～

読み書きができるようになってもしっかりと読む習慣を身に付けることが重要です。家庭や学校では絵入りのやさしい読み物等を楽しんで読む習慣を身に付けられるよう取り組むことも必要です。学校図書館や市立図書館で本の探し方や図鑑の読み方などを教える講座等の実施に努めます。

●方策 2 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～

ひとり読みもできるようになり、読書の量と範囲を広げることが重要です。物語だけではなく、伝記、科学、歴史など幅広い領域の本や、地域の資料などを収集し、自分で調べる学習に役立てる力を育めるよう取り組むことも必要です。学校図書館や市立図書館での分類の仕組みや辞書の引き方、本の構成などを教える講座等の実施に努めます。

●方策 3 小学校高学年 ～読み続けたい本を探す～

個性や関心により本の好みが一層強くなる時期なので、フィクションもノンフィクションも、社会科学も自然科学も、多様で広く深い領域にわたる本の紹介が重要です。また子どもたちそれぞれの個性や関心に応じた読書指導が必要となります。自分の読んだ本の紹介や高学年から低学年への読み聞かせ等を行うことにより、読む力、話す力を高めるだけでなく、本の理解を深めることができます。

●方策 4 読書の習慣化と学校図書館の活用

学校における「読書の時間」の充実のほか、本好きサポーターやボランティア等による読み聞かせやブックトーク等の実施に努めます。読み聞かせボランティア参加の呼びかけや本好きサポーターの計画的な配置に努めます。また学校の授業に学校図書館を積極的に活用できるよう努めます。

(3) 施策 3 中学・高校生期における読書活動の推進

中学・高校生期には、様々な理由から読書離れが進む傾向にあります。しかし、自分の生き方、将来等を考えはじめ、自立性が大きく育つ時期でもあることから、中学・高校生期の読書は非常に重要です。より多くの本に触れることができるよう、読書の機会を増やす方策の推進に努めます。また読書が自己実現につながるよう、自主的な読書を尊重しつつ、必要な時は高度な専門知識等も情報提供できるよう、家族や周囲の人は読書環境を支えていくことが必要です。

●方策 1 本に親しむ機会の提供

市立図書館では「戸田市中学生社会体験チャレンジ事業」で積極的に受け入れ、生徒が市立図書館を更に活用しやすくなるよう努めます。また、学校と連携し、図書委員会へ働きかけ、POP展示など、生徒の様々なアイデアを活かした読書活動推進の事業に取り組みます。

●方策 2 学校図書館・市立図書館の利用の促進

生徒が資料を活用して学習することを推進し、学校図書館や市立図書館の利用につなげるために、学校図書館ではテーマ展示や印刷物の作成、市立図書館では図書資料提供や資料相談による授業支援等の充実を図ります。

【生涯学習課公民館担当】

事業名	子育て講座①絵本の読み聞かせ	
事業内容	下戸田公民館の講座で、幼児・小学生(低学年)の親子を対象とした内容。絵本の読み聞かせや紙芝居などを月1回実施。絵本や紙芝居に親しむことにより、絵本等を読む習慣を養う。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 5 年度の実績	12回実施 延べ参加者28人(大人14人、子供14人)	
令和 5 年度の所感	下戸田公民館では、月1回の全 12回開催し、参加者同士の交流もあり、和やかな雰囲気での開催だった。	
令和 6 年度 以降の展開	「子どもの成長が分かって嬉しかった」、「いろいろな人と会えて社会勉強になった」などの感想があり、子どもの発育を促す面でも良い機会となっている。参加者が年々少なくなっているため、SNS等を含め、周知をさらに積極的に行い、多くの方に参加してもらえよう取り組んでいきたい。	

【教育政策室】

事業名	本好きサポーター(戸田市学校図書館図書整理員)の配置	
事業内容	市内各小・中学校に本好きサポーターを配置する。司書教諭と連携して、図書の管理や整理	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 4	《小学生期における読書活動の推進》 読書の習慣化と学校図書館の活用
令和 5 年度の実績	市内各小・中学校、全18校に1名ずつ配置。	
令和 5 年度の所感	本好きサポーターの配置により、学校図書館の環境整備がされ、児童生徒の読書活動が推進されている。また、司書教諭等と連携し、授業での学校図書館の利用や委員会活動の活性化を図り、利用しやすい学校図書館となっている。今後は1人1台端末環境における学校図書館の学習センター、情報センターの機能の充実やブックトーク等を通じた読書活動の推進を行う。	
令和 6 年度 以降の展開	継続して配置する。	

【障害福祉課】

事業名	児童発達支援センター等における読み聞かせの実施	
事業内容	児童発達支援センター「あすなろ学園」等における読み聞かせ事業の実施を推進する。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
令和 5 年度の実績	児童発達支援センター「あすなろ学園」において、通所児童に対して毎日、朝の会、帰りの会等で絵本等の読み聞かせを行った。	
令和 5 年度の所感	児童が嬉しそうにしている様子が見られるなど表情が豊かになる等の良い影響があった。	
令和 6 年度 以降の展開	引続き、定期的な読み聞かせを実施していく。	

【子育て支援課】

事業名	地域子育て支援拠点事業	
事業内容	概ね 3 歳未満の乳幼児とその保護者が、身近な場所で気軽に集い、相互交流を図ることや、アドバイザー等の育児相談及び子育て講演会の開催により子育ての負担感の緩和を図り、地域で安心して楽しく子育てができる環境を整備する。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 5 年度の実績	・「親子ふれあい広場」等利用人数:延べ 25,656 人 ・「子育て講演会」参加人数:実数 22 人	
令和 5 年度の所感	令和 5 年度より広場の利用制限を緩和し、利用人数が増加しているため、一層各広場において、乳幼児や保護者が自由に絵本を手に取り、親子と一緒に絵本に触れ合える機会を提供していきたい。	
令和 6 年度 以降の展開	利用制限の緩和をしていることから、今後も基本的感染施用対策を講じながら、安心して親子で絵本とのふれあいを楽しむ機会を提供する。	

【保育幼稚園課】

事業名	保育園における絵本の読み聞かせ	
事業内容	全園児を対象に公立保育園全園(7 園)で毎日実施する。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 4	《乳幼児期における読書活動の推進》 保育園等における取組
令和 5 年度の実績	園児に対して、毎日の絵本の読み聞かせを行い、情操教育を行うことができた。 職員が読み聞かせした絵本を手にするようにした。	
令和 5 年度の所感	職員が絵本の読み聞かせをしようとすると、興味津々でそばに来て、クラスみんなで楽しみ、情操教育を図ることができた。	
令和 6 年度 以降の展開	保育士やおはなしボランティアによる読み聞かせを引き続き行い、さらに絵本に親しみを持てるようにしていく。	

【児童青少年課】

事業名	プリムローズ管理運営事業・こどもの国管理運営事業	
事業内容	児童センターにおける乳幼児への読み聞かせ ①おはなしの木の読み聞かせ(プリムローズ) ②さんさん広場プログラムタイムの読み聞かせ(プリムローズ) ③親と子の楽しい絵本の会(こどもの国) ④青空紙芝居(こどもの国) ⑤ちびっこ紙芝居(こどもの国)	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 5 年度の実績	①9回実施 親子23組 49人参加(プリムローズ) ②58 回実施 親子 355 組 767 人(プリムローズ) ③22 回実施 親子204組 408 人参加(こどもの国) ④4回実施 親子38組 76人参加(こどもの国) ⑤10回実施 親子 49 組 98 人参加(こどもの国)	
令和 5 年度の所感	(プリム)子ども・保護者共に、「読書・本」離れの傾向を感じる。職員が事業として提供する読み聞かせには一定の興味を示すが、自ら図書コーナーの「本」を手にする頻度は、かなり減少傾向にある。(こどもの国)HP、館内だより、ポスター等の告知で参加者が増えた。また、紙芝居を楽しみに来館してくれる親子が増えた。	
令和 6 年度 以降の展開	(プリム)ボランティア団体の協力も得て、乳幼児向け書籍の紹介や読み聞かせのコツ等を伝達する「保護者向け講座」を予定。親子の、本への興味喚起、読書への意識啓発を目指す。 (こどもの国) 事業の周知を進め、来館者のニーズに応えられるよう内容の充実に務める。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	ブックスタート事業	
事業内容	親子の触れ合いと赤ちゃんの健やかな成長を願って福祉保健センターで「4 か月健診」の親子を対象にした、ブックスタート事業の趣旨説明と絵本の読み聞かせ、絵本と絵本紹介冊子「あかちゃんの小箱」の贈呈	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 5 年度の実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ブックスタート事業の趣旨説明はビデオ研修（離乳食とブックスタートがセット）にて行い、対面では絵本の贈呈と発行物の配布、および希望者に対する絵本の読み聞かせを実施した。 絵本の配布実績 1,078 組 配布した絵本「がたん ごとん がたん ごとん」（安西水丸作）、など	
令和 5 年度の所感	絵本の読み聞かせは、午前の部の検診者に希望者が多かった。ブックスタートをきっかけに図書館に来て絵本を借りたり、おはなし会に参加する人もいたために幼児期から本に親しむきっかけを作れていると感じているが、残念ながら令和 5 年度の配布実績は前年と比較して減少した。	
令和 6 年度 以降の展開	令和 5 年度に行っていたビデオ研修は終了となり、対面でブックスタート事業の趣旨説明、絵本の贈呈、発行物の配布、絵本の読み聞かせを実施する。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	託児付き子育て支援講座 親子で楽しむ絵本の時間	
事業内容	小さいお子様を保育士が預かる託児サービスを付き講座 まだ講座への参加が難しい小さなお子様を保育士に預けて頂き、 少し大きいお子様と一緒に絵本の読み聞かせや絵本の別の楽しみ 方を体験してもらう親子向けの内容	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 5 年度の実績	実施回数 2 回 延べ参加者 子ども 14 名 大人 20 名 計 34 名	
令和 5 年度の所感	1 回目は絵本や紙芝居の選び方や読み方の講義のあとに、親子で 手作り絵本を作るワークショップを開催し、2 回目は絵本の読み聞 かせに関する悩み相談のあとに親子で紙コップを使った工作のワー クショップを開催した。 絵本の読み聞かせに関するお悩み相談では、参加者の日頃の悩み に対して講師が的確にアドバイスし参加者は非常に満足していた。	
令和 6 年度 以降の展開	令和 5 年度と同様に年 2 回の講座を開催する。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	おはなしボランティアによるおはなし会の集会事業	
事業内容	①ととけっこの部屋・・・2・3歳児親子を対象とした絵本とわらべうたの読み聞かせ(毎月第1金曜日に実施) ②おはなし玉手箱・・・幼児から小学低学年を対象とした絵本の読み聞かせ、おはなしなど(毎週水曜日と第2・3土曜日に実施) ③おはなしの部屋・・・概ね5歳児以上を対象としたストーリーテリング(素話)など(毎月第4土曜日に実施)	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
令和 5 年度の実績	①実施回数 12 回、延べ参加者 子ども 64 名 大人 50 名 計 114 名 ②実施回数 64 回、延べ参加者 子ども 298 名 大人 220 名 計 518 名 ③実施回数 11 回、延べ参加者 子ども 62 名 大人 39 名 計 101 名	
令和 5 年度の所感	ボランティアの皆さんが様々なアイディアでおはなし会を活性化させてくれたため、前年度以上に充実した内容になり、参加者の満足度も上がった。	
令和 6 年度 以降の展開	多くの方々から要望のあった乳幼児向けのおはなし会へのステップとして、いままで全て午後開催だった②のおはなし玉手箱の一部を午前開催にし、対象者にも乳幼児を加え開催していく。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	図書館職員による読み聞かせの実施	
事業内容	各種おはなし会の開催 他イベント内での読み聞かせの実施	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
令和 5 年度の実績	こわいおはなし会、美笹のおはなし会、公民館まつりでのおはなし会 実施回数 15 回 参加人数 子ども 88 名 大人 64 名 計 152 名 各工作会、ぬいぐるみお泊り会における読み聞かせの実施 実施回数 4 回 参加人数 子ども 51 名、大人 46 名 計 97 名	
令和 5 年度の所感	ふだん図書館に来ない子ども達がイベントに参加しておはなし・本に親しみを持ってくれた。 これをきっかけに、日常的におはなし・本・図書館に触れるようになることを期待したい。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も各種イベントの中で読み聞かせの機会を作り子どもの読書活動につなげていきたい。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	図鑑名人になろう！/ ギモンのしらべ方	
事業内容	小学校1年生以上の利用者を対象した図鑑を使ってクイズを解いてもらう講座、および中学生の不登校学級等で行った出前授業	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
	施策 2/方策 3	《小学生期における読書活動の推進》 小学校高学年 ～読み続けたい本を探す～
	施策 3/方策 1	《中学・高校生期における読書活動の推進》 本に親しむ機会の提供
令和 5 年度の実績	実施回数 5 回、延べ参加者 子ども 20 名、大人 10 名	
令和 5 年度の所感	小学生にはクイズ問題(「動物」「植物」「魚」など)の答えを図鑑を使って導き出すこと、中学生にはポプラディア、各種参考図書を活用して興味あるテーマについて調べる体験をしてもらった。 今後の課題に対してネットだけでなく本・資料・図鑑も活用して答えを導き出すようになることを期待したい。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も継続実施し、子どもが情報入手にネットからだけでなく紙の資料・本・図鑑等で裏付けをとる習慣、いわゆる情報リテラシーを身に付けるサポートをしていきたい。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	図書館を使った調べる学習講座	
事業内容	小学生が自分の興味や関心のあるテーマについて、図書館を活用して調べ自ら学び考える学習方法を学ぶ講座	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
	施策 2/方策 3	《小学生期における読書活動の推進》 小学校高学年 ～読み続けたい本を探す～
令和 5 年度の実績	7 月 10 日～9 月 30 日 オンライン講座 再生回数 203 回	
令和 5 年度の所感	興味あるテーマから課題を導き出し→仮説づくり→資料から答えの導き出し→まとめ→発表資料作り、までのプロセスを学んでもらった。 今後の課題に対してネットだけでなく本・図鑑・資料も活用して答えを導き出すようになることを期待したい。	
令和 6 年度以降の展開	今後も継続実施し、子どもが課題を解決するための情報入手にネットからだけでなく紙の資料・本・図鑑等で裏付けをとる習慣、いわゆる情報リテラシーを身に付けるサポートをしていきたい。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	40 周年としょかん感謝祭でのイベント開催	
事業内容	①英語おはなし会 ②スペシャル人形劇 ③あんびるやすこ先生トークショー ④ひゃっか王からの挑戦状 ⑤古民家おはなし会 ⑥絵本の原画展・パネル展 ⑦その他	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
	施策 2/方策 3	《小学生期における読書活動の推進》 小学校高学年 ～読み続けたい本を探す～
	施策 3/方策 1	《中学・高校生期における読書活動の推進》 本に親しむ機会の提供
令和 5 年度の実績	①実施回数 1 回 参加人数 子ども 11 人 大人 9 人 計 20 人 ②実施回数 1 回 参加人数 子ども 32 人 大人 27 人 計 59 人 ③実施回数 1 回 参加人数 子ども 33 人 大人 33 人 計 66 人 ④実施回数 1 回 参加人数 子ども 30 人 大人 30 人 計 60 人 ⑤実施回数 2 回 参加人数 子ども 16 人 大人 10 人 計 26 人 ⑥3 月～9 月まで毎月開催	
令和 5 年度の所感	ふだん図書館にこない子ども達がイベントに参加しておはなし・本・図書館に親しみを持ってくれた。 これをきっかけに、日常的におはなし・本・図書館に触れるようになることを期待したい。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も各種イベントを開催しておはなし・本・図書館に触れる機会を創出し、子どもの読書活動につなげていきたい。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	赤ちゃんおはなし会	
事業内容	・未就園児（0～3 歳）を対象とした絵本・紙芝居の読み聞かせ、手遊び。 ・親子が一緒になって絵本に触れ、楽しむ時間を提供する。 ・毎週金曜日（※第 4 を除く）に実施。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 5 年度の実績	延べ回数 36 回、延べ参加者数 303 人	
令和 5 年度の所感	後期から特に参加人数が増加した。参加者同士の口コミや、チラシ、広報での集客が多い。参加者のリクエストを反映した歌や大型絵本のプログラムが好評だった。	
令和 6 年度 以降の展開	定期的に参加者にアンケートを取り、絵本や歌、手遊びのリクエストを聞いていく。大型絵本のバリエーションも増やしていく。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	パルシアターとかみとだおはなし会	
事業内容	・3 歳児～小学校低学年を対象とした絵本・紙芝居の読み聞かせをする。その後、映画上映会を行う。 ・親子が一緒になって絵本に触れ、楽しむ時間を提供する。 ・毎月第 1 日曜開催。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 5 年度の実績	延べ回数 12 回、延べ参加者数 108 人	
令和 5 年度の所感	3 歳～小学低学年を対象とした絵本や紙芝居を読み、子どもから大人まで楽しめるアニメーション映画の上映を行った。ディズニーや絵本が原作の作品は人気が高く、多くの方にご参加いただけた。	
令和 6 年度 以降の展開	会場の研修室では、小さなお子さんが長時間椅子に座ってられないという声をいただいた。今後は会場の半分にマットを敷くなど、設営を見直していく。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	おうちで絵本ひろば	
事業内容	・図書館職員が年齢に沿った絵本の選び方や絵本を通じた子育ての楽しさ等を伝える。 ・奇数月第 4 土曜日に実施。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 5 年度の実績	延べ回数 6 回、延べ参加者数 20 人	
令和 5 年度の所感	開催時間に対象の保護者が館内に見受けられないという事もあり、1 月からは第 4 金曜「みんなでパルるんひろば」内の交流時間に開催した。読み聞かせが終わった後のため、保護者も絵本について質問しやすい環境ができていた。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も「みんなでパルるんひろば」内での開催を継続していく。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	かみとだおはなし会(未就学児～小学校低学年向け)	
事業内容	・3 歳児～小学校低学年を対象とした絵本・紙芝居の読み聞かせ。 絵本のテーマに関連したおりがみなどの工作。 ・親子が一緒になって絵本に触れ、楽しむ時間を提供する。 ・毎月第3日曜日に開催。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 5 年度の実績	延べ回数 9 回、延べ参加者数 50 人	
令和 5 年度の所感	絵本のテーマに合わせて、折り紙や段ボール工作、ゲームを行った。想定している対象よりは年少のお子さんが多かったが、親子共に楽しんでいただけた。	
令和 6 年度 以降の展開	興味を引きそうな工作の写真を入れたチラシを作成し、集客につとめる。絵本も当日参加のお子さんの年齢を見て対応できるよう、幅広く用意する。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	ぬいぐるみおとまり会	
事業内容	子どものぬいぐるみを預かり、閉館後の上戸田地域交流センター探検や仕事体験をする様子を写真に収め、おすすめの絵本紹介と共にぬいぐるみに添えてお返りする。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 5 年度の実績	延べ回数 2 回、延べ参加者数 40 人	
令和 5 年度の所感	今期は子どもだけでなく、大人のみの参加も受け付けた。大人も子どももお気に入りのぬいぐるみと一緒に読み聞かせを楽しみ、お迎えの際には図書館体験を満喫したぬいぐるみたちの写真アルバムをおみやげに持ち帰った。	
令和 6 年度 以降の展開	大事な家族や友達であるぬいぐるみと一緒に絵本や図書館利用を楽しむことで、絵本の貸出や図書館の自発的な利用促進を目指す。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	めざせ！図鑑マスター	
事業内容	紙芝居『本ってどうやってつかうの？（目次と索引）』で図鑑の使い方を知った後、自分の好きなジャンルのクイズを選び、図鑑を使って答えを調べる。調べた答えと気になったところを用紙に記録し、自分だけの図鑑を作成する。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
令和 5 年度の実績	延べ回数 2 回、延べ参加者数 16 人	
令和 5 年度の所感	低学年の子にも参加がしやすいよう、図鑑を見てスケッチする、図を描くといった問題も取り入れた。中には、より難しいレベルに挑戦するお子さんもあり、調べ学習への意欲促進につながっていた。	
令和 6 年度 以降の展開	例年と同様にレベル別に問題を作成し、自身で選びながら学習できるようにする。グループ学習室前に図鑑を設置し、調べ学習に役立ててもらう。調べる学習コンクールへの参加も促す。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	○△□のひみつ～マークにかくされたおやくそく～	
事業内容	行政書士を講師に招き、子ども向け法セミナーを開催。身近にあるリサイクルマークを通し、なぜ同じマークがあるのか、マークの意味についてを学ぶ。法的な考え方を身につける機会提供と、調査の手段の一つとして図書館の活用を促す。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 5 年度の実績	延べ回数 1 回、延べ参加者数 3 人	
令和 5 年度の所感	去年と時期をずらして秋に開催したところ、申込数が振るわなかった。ただ、行政書士と対面で話ができ、こまめに質問ができる環境は参加者にとって満足度が高い様子だった。	
令和 6 年度 以降の展開	長期休暇など親子で参加しやすい時期に開催し、事前の告知も会場の様子がわかる写真などを使い、積極的に行っていく。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	ちびっこ一日図書館員	
事業内容	・図書館の仕事体験を通し、図書館や本への理解を深める。 ・生涯にわたって図書館を利用してもらうためのきっかけづくりとする。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
令和 5 年度の実績	延べ回数 2 回、延べ参加者数 6 人	
令和 5 年度の所感	上戸田分館の利用が初めてという子が多く、図書館の役割や利用方法についての説明を始めに行い、今後の利用促進を図った。参加者のほとんどが違う小学校に通っており、他校の参加者同士の交流にもつながった。	
令和 6 年度 以降の展開	低学年だけでなく、高学年のお子さんにも参加していただけるよう周知を図っていく。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	みんなでパルるんひろば	
事業内容	・未就園児（0～3 歳児）を対象とした絵本の読み聞かせ、手遊び、歌。 ・後半は保護者同士、ボランティアとの交流時間。 ・毎月第 4 金曜開催。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 5 年度の実績	延べ回数 12 回、延べ参加者 143 人	
令和 5 年度の所感	上戸田分館職員と読み聞かせボランティア、保健師が協力して運営している。手遊びや大型絵本を含むプログラムは毎回好評である。保健師への相談や、ボランティアとの交流の時間は親子共に安心できる場となっている。	
令和 6 年度 以降の展開	参加者数の増加に伴い、会場を軽体育室に移したことにより、より多くの方にご参加いただけるようになった。今後は、わかりやすい会場の案内や大型絵本の事前告知など行っていく。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	おはなしのバスケット	
事業内容	・0歳～未就学児を対象とした絵本・紙芝居の読み聞かせ、手遊び。 ・上戸田地域交流センター窓口で貸出を行っているおもちゃメニューの一つで、申込があったら図書館職員がキッズスペースに出向き、個別対応で読み聞かせを行う。 ・親子が一緒になって絵本に触れ、楽しむ時間を提供する。 ・毎週火曜日・金曜日の14時～16時に実施。1回約15分。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 5 年度の実績	延べ開催 83 回、延べ参加数 279 人	
令和 5 年度の所感	図書館を利用したことが無い方々にも絵本や手遊びに触れていただくきっかけとなった。また、対面で行うことにより、保護者からの絵本の相談や読み聞かせの不安なども直接伺う機会にもなった。	
令和 6 年度 以降の展開	センター窓口での案内だけでなく、チラシ配布や関連講座での紹介で周知を図っていく。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	「親子ふれあいヨガ」「ママのリフレッシュ親子ヨガ」「親子ヨガ夏休みチャレンジ」講座でのミニおはなし会	
事業内容	・上戸田地域交流センターの開催事業内の冒頭 10 分間で絵本の読み聞かせを行う。 ・「親子ふれあいヨガ」は 6 ヶ月～1 歳 6 ヶ月対象、「ママのリフレッシュ親子ヨガ」は 1 歳 3 ヶ月～未就園児対象、「親子ヨガ夏休みチャレンジ」は 6 ヶ月～未就学児対象。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 5 年度の実績	延べ開催 40 回、延べ参加数 402 人	
令和 5 年度の所感	開始前に手遊びや紙芝居を取り入れることで、お子さんの集中力が高まっている。保護者や講師も一緒に楽しんで、会場一体となっていた。	
令和 6 年度 以降の展開	引き続き、センターと連携して、講座内でのおはなし会等で読書推進を図る。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	お寺でこわいおはなし会	
事業内容	・海禅寺にて怖い話をテーマにおはなし会を開催する。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 5 年度の実績	延べ開催 1 回、延べ参加数 21 人	
令和 5 年度の所感	地域にある海禅寺に協力をいただき、特別なおはなし会を実現した。 怖いだけでなく笑いもあり、大人子ども共に満足していただけた。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も、市民が地域の文化・歴史的な施設に触れたり、訪れたりする 機会を作り、地域に愛着をもつきっかけにすると共に、特別な会場で おはなし会を行うことで、より本への興味を引き出すような事業を企 画していく。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	手羽先で骨格標本をつくろう！	
事業内容	・上戸田地域交流センターを会場とし、身近な鶏の手羽先、手羽元からニワトリの前肢(翼)の骨格標本を作ること、関節を動かす仕組みやヒトの上肢との対比を学ぶ。 ・夏季休暇の 8 月に、週一回、計 4 回参加する連続講座として開催した。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
	施策 2/方策 3	《小学生期における読書活動の推進》 小学校高学年 ～読み続けたい本を探す～
令和 5 年度の実績	延べ開催 4 回、延べ参加数 25 人	
令和 5 年度の所感	科学実験を通して科学的思考やデータ分析スキル、課題を見つける・解決する力といった学習意欲を促進させた。また、関連書籍の紹介により、読み物だけでなく、図鑑やノンフィクションといった児童書を知るきっかけとなった。	
令和 6 年度以降の展開	事前に貸出券の案内を行い、体験を通して得た興味関心を本を手取るきっかけにつなぎ、調べ学習や学びの楽しさを促していく。	

基本方針 2 読書環境の整備・充実

子どもが読書に親しむためには、読書や本を楽しむための環境が整っていないければなりません。そのためには、図書館だけでなく、子どもの生活に関わる施設等において、図書の計画的な整備といった、子どもの読書活動の場として好ましい環境にするための働きかけが必要です。また、障害のあるなし等に関わらず、すべての子どもたちに読書に親しんでもらうため、積極的な働きかけが必要です。

（１）施策 1 家庭・地域の読書環境の整備・充実

子どもの読書を習慣付け、継続的なものとするためには、家庭や地域の身近な場所で本を手にとることができる環境作りが必要です。そのためには、市立図書館にある本を、子どもの身近な場所に貸し出すなどの支援を行い、誰もが本と親しむことができる読書環境の整備に努めます。

●方策 1 団体貸出の拡充

市立図書館では小・中学校、幼稚園、保育園、学童等の子どもと密接に関わる団体に対し積極的に本の貸出しを実施し、読書環境の充実を図ります。

（２）施策 2 市立図書館における読書環境の整備・充実

市立図書館は、子どもが本と出会い、本と触れ合い、読書を楽しむことができる魅力的な場となるよう、児童書の充実のほか、本が探しやすく、親しみやすい環境作りに努めます。

●方策 1 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実

市立図書館の児童コーナーの充実を図るほか、表示や展示、レイアウトに工夫を凝らすなど、探しやすく見つけやすい書架作りを行い、子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実を図ります。

●方策 2 特別な支援が必要な子どもへの取り組み

障害のある子どもや外国語圏の子ども等、読書活動をするうえで、特別な支援が必要な子どもに向けての多様な資料収集、提供に努めます。

（３）施策 3 学校図書館における読書環境の整備・充実

学校図書館は、子どもが本と出会い、本と触れ合い、読書を楽しむことができる魅力的な場となるよう、児童書の充実のほか、本が探しやすい、親しみやすい環境作りに努めます。

●方策 1 学校図書館の活用のための環境の整備・充実

市内小学校及び中学校に配置されている本好きサポーターが各校の司書教諭と連携し、学校図書館の資料の充実、環境整備、授業等での積極的利用の促進を図るとともに、児童・生徒に対して読書の推奨、本の紹介、調べ方の案内等を積極的に行い、子どもや教職員にとって本を探しやすい、利用しやすい環境作りに取り組みます。

●方策 2 学校図書館・市立図書館の連携による環境の整備・充実

市立図書館は、学校図書館の運営や図書に関する様々な相談、学校図書館の環境改善に向けたアドバイスや、図書の定期的な貸出しの実施等に努め、学校図書館と市立図書館との積極的な連携によって学校図書館の環境整備と充実を図ります。

【教育政策室】

事業名	本好きサポーター(戸田市学校図書館図書整理員)の配置	
事業内容	市内各小・中学校に本好きサポーターを配置する。司書教諭と連携して、図書の管理や整理、読書活動の充実を図る。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 3/方策 1	《学校図書館における読書環境の整備・充実》 学校図書館の活用のための環境の整備・充実
令和 5 年度の実績	市内各小・中学校、全18校に1名ずつ配置。	
令和 5 年度の所感	本好きサポーターの配置により、おすすめの図書や入荷した図書の紹介等載せた便りを発行や配信をしたり、児童生徒の委員会活動を支援したりして、学校図書館の充実を図っている。また、学習内容や学校行事、時事等に応じたコーナーを設け、学校行事や授業等で活用しやすい学校図書館になっている。	
令和 6 年度 以降の展開	継続して配置する。	

【保育幼稚園課】

事業名	絵本の貸し出し	
事業内容	年齢にあった絵本の紹介を行う。 保育園で年齢にあった絵本を整備し、貸し出しを行う。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《家庭・地域の読書環境の整備・充実》 団体貸出の拡充
令和 5 年度の実績	年齢にあった絵本の紹介を園だよりや掲示板を使って行っていた。 また絵本の貸し出しを行い、保護者と一緒に家庭でゆっくりと楽しめるようにした。	
令和 5 年度の所感	保育園で読んでいる本を伝え、貸し出しを行うことで、保護者にも絵本に興味を持ってもらうことができた。	
令和 6 年度 以降の展開	引き続き、絵本の紹介や貸し出しを行い、保護者にも絵本の楽しさを知らせていきたい。	

【児童青少年課】

事業名	プリムローズ管理運営事業・こどもの国管理運営事業	
事業内容	児童図書の充実	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《家庭・地域の読書環境の整備・充実》 団体貸出の拡充
令和 5 年度の実績	(プリム)中高生世代を対象にした図書を購入。乳幼児向けの図書については、地域住民からの寄付もあり、蔵書が増えた。 (こどもの国)保護者向けの図書コーナーを設けたことで利用者が増えた。また、こどもの国だよりに毎回本の紹介を設けた。	
令和 5 年度の所感	(プリム)閲覧後の本の破れ等が若干増えたが、そのつど修復して再提供した。 (こどもの国)人気の本は傷みが激しく、新しい本と入れ替えた。また、人気の図鑑や絵本は複数冊用意した。	
令和 6 年度以降の展開	(プリム)幅広いジャンルの蔵書をさらに充実させていくと同時に、より多くの来館者の目に触れるよう、3 階図書コーナー以外の場所にも、勧めたい本を配置する。 (こどもの国)これまで同様、蔵書の充実を図っていくとともに、図書の配置について、子ども達が選びやすい配置を検討する。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	学校への団体貸出	
事業内容	子どもの読書活動推進や調べ学習のための、市内小中学校への図書館資料の貸出	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《家庭・地域の読書環境の整備・充実》 団体貸出の拡充
	施策 3/方策 1	《学校図書館における読書環境の整備・充実》 学校図書館の活用のための環境の整備・充実
	施策 3/方策 2	《学校図書館における読書環境の整備・充実》 学校図書館・市立図書館の連携による環境の整備・充実
令和 5 年度の実績	小学校 3 校 103 件 4,189 冊	
令和 5 年度の所感	昨年に引き続き多くの図書館資料を利用してもらったが、利用する小学校の数は減った。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も継続実施するが、学校への働きかけを工夫し利用拡大を図っていきたい。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	出前授業	
事業内容	I-6 図書館でどんなところ I-7 図鑑名人になろう I-11 NDC を使いこなそう I-12 ブックトーク	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 1	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実
	施策 2/方策 2	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 特別な支援が必要な子どもへの取り組み
令和 5 年度の実績	図書館ってどんなところ:新曽小、笹目東小、芦原小、戸田第二小 （蕨西小） 図鑑名人になろう:いっぽ、STEP NDC を使いこなそう:戸田第二小 ブックトーク:戸田東小	
令和 5 年度の所感	小学校の出前授業では、図書館の活用方法や本の探し方を理解し 今後図書館や本を身近に感じてもらう機会となった。 また、いっぽ、STEP の出前授業では自分が設定したテーマについ て調べるため真剣に図書館資料を読み込む生徒の姿が印象的だっ た。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も継続実施するとともに、魅力あるコンテンツ作りに取り組み たい。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	児童書・YA 本・他の展示、児童書・YA コーナーの充実、等	
事業内容	月間展示企画、3カ月単位の季節展示企画、7-8 月夏期特別展示企画、その他児童本のテーマ展示の実施 読み聞かせコーナーの飾りつけ 児童向け特集コーナー、YA コーナーの設置 ロビー展示	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 1	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実
	施策 2/方策 2	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 特別な支援が必要な子どもへの取り組み
令和 5 年度の実績	児童企画展示 22 企画 YA 企画展示 5 企画 読み聞かせコーナーの飾りつけ 1 回 児童向け企画コーナー 2 箇所（むかしばなし、コールデコット賞作品） YA コーナー2 箇所 ロビー展示（原画展、パネル展、小中学校の作品展）	
令和 5 年度の所感	季節や社会の動きに応じたタイムリーな企画展示を行うことによって児童や中高生が興味をもって本に触れる機会を増やすことができた。 また、正面ロビーでは原画展、パネル展、および小中学校の作品展を開催し、本や図書館に興味を持つ環境を作った。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も魅力ある企画展示、およびロビー展示を行い、子どもが本に触れる機会を創出していきたい。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	読書バリアフリーの推進	
事業内容	電子図書館の充実 バリアフリーコーナーの充実 外国語資料の充実	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 1	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実
	施策 2/方策 2	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 特別な支援が必要な子どもへの取り組み
令和 5 年度の実績	電子図書館タイトル数 10,928 タイトル 電子図書館読み放題パック 2 パック バリアフリーコーナーの移設・拡大 バリアフリー映画会の開催、バリアフリーサービス展示 サピエの導入、布絵本・マルチメディアデージー資料の拡充 中国語、英語資料を拡充	
令和 5 年度の所感	バリアフリー関連の資料・サービスの充実は重要だが、実際にそれを利用に結びつける努力が必要であり、周知活動の重要性を感じた。	
令和 6 年度以降の展開	令和 6 年度は電子図書館を更に充実させるとともに、バリアフリーサービスの周知に継続的に取り組む。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	絵本コーナー及び児童コーナーでの資料展示	
事業内容	・絵本コーナーでは時節に合わせた本の紹介を通して、新しい本との出会いや読書の幅を広げていただくきっかけをつくる。 ・児童コーナーでは郷土博物館の写真部連携展示や、センターで開催した天体写真展といったイベントに合わせたテーマで図書や関連資料を展示し、興味関心を持って本を手に取りやすい環境を整える。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 1	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実
令和 5 年度の実績	・絵本コーナー:年間 7 テーマで展示を実施。 ・児童コーナー:年間 7 テーマで展示を実施。	
令和 5 年度の所感	絵本コーナーでは、普段なかなか借りられない書庫の本を活用し、手に取りやすいレイアウトと共に展示し、貸出につなげた。 児童コーナーでは、本だけでなくテーマに合わせた展示品(昔遊びの玩具や昆虫の標本など)も合わせて展示し、子どもの興味関心を引いた。	
令和 6 年度以降の展開	子どもの調べ学習にも利用できるよう、展示テーマを地域の小学校で実施している課題解決型学習(PBL)を参考に組むことを検討していく。	

基本方針 3 読書活動の普及・啓発

子どもの読書活動の推進のためには、身近な大人が様々な読書活動を知り、読書の意義について理解と関心を深めることにより、子どもの読書意欲を高め、読書習慣につながっていくと考えられることから、読書に関する様々な取組や情報について広く市民に周知を図ります。

(1) 施策 1 読書活動の普及・啓発の推進

子どもの読書活動を推進するため、子どもと保護者だけでなく多くの市民に読書の大切さを知ってもらえるよう、読書に関する様々な取組や情報を積極的に収集・発信し、広く周知に努めます。

●方策 1 読書活動の普及・啓発活動

子どもの読書に関する事業の展開、読書感想文の取組への啓発、学校図書館、市立図書館の活動を広く周知すること等により、市民への子どもの読書活動の意義についての普及・啓発に取り組みます。

●方策 2 読書活動を推進するための広報・情報発信

広報戸田市、教育広報とだ、図書館報等の広報誌、ホームページやSNSを利用した本の紹介など、子どもの読書活動に関する地域の情報等を積極的に収集し、広く情報発信に取り組みます。

【保育幼稚園課】

事業名	日常の保育や行事等での読書活動の推進	
事業内容	季節や行事、子どもの興味に合わせて、絵本の読み聞かせを行う。様々な表現方法からお話に興味を持ち、絵本への興味を引き出す。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
令和 5 年度の実績	保育士が季節や行事に合わせた絵本の読み聞かせをすることで、内容に興味を持ったり、劇ごっこに発展したり、絵本を通して様々な活動を楽しんでいた。	
令和 5 年度の所感	絵本を見ることで、子どもたちが興味を持つきっかけ作りになっていた。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も様々な方法で絵本に興味を持てるような題材の絵本の購入を進めていく。	

【児童青少年課】

事業名	プリムローズ管理運営事業・こどもの国管理運営事業	
事業内容	図書の無料閲覧	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和 5 年度の実績	(プリム)コロナ 5 類移行後、下半期より館外貸出を再開した。(こどもの国)こどもの国だよりに毎回本の紹介を記載した。また、図書コーナーに本の紹介コーナーを設けた。	
令和 5 年度の所感	(プリム)館外貸出を行っていなかった期間が長かったため、再開したにもかかわらず利用がほぼ無かった。(こどもの国)保護者向けコーナーの隣に人気の絵本の照会をしたことで、今まで手にしなかった絵本を手取る姿が見られた。	
令和 6 年度 以降の展開	(プリム)これまで同様、無料閲覧できる図書の充実を図り、同時に、より多くの来館者の目にとまるような工夫(ポスターや館便りでの情報発信等)を行っていく。(こどもの国)これまで同様、無料閲覧できる図書の充実を図り、年齢に合わせた新刊本・お勧め本の紹介を実施する。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	児童書の周知、啓発のための広報活動	
事業内容	①児童向け図書館報「わいわいだより」 ②テーマを決めた児童書の紹介「ブックリばこ」 ③小学校1年生向き図書の紹介冊子「おめでとう！いちねんせい」 ④赤ちゃん絵本のリスト「あかちゃんの小箱」 ⑤マタニティ向け絵本リスト「マタニティママと赤ちゃんの小箱」 ⑥中央の新着児童書の一部を紹介するリスト「新しい絵本のリスト」	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和 5 年度の実績	①年 2 回発行 ②年 4 回発行 ③年1回発行（4月、市内小学校新1年生全児童に配布） ④ブックスタート実施時に配布。随時発行 ⑤母子健康手帳発行時に配布。随時発行 ⑥年6回（偶数月）発行	
令和 5 年度の所感	各種活動を通じて、おすすめする本を表紙と紹介文入りで取り上げる ことにより、児童が本を読むきっかけを作った。また子どもを持つ親 へは読み聞かせの意義や読書の素晴らしさを伝えることができた。	
令和 6 年度 以降の展開	令和 6 年度も継続実施する。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	子どもの読書記録	
事業内容	新図書館システムの読書記録機能導入 読書手帳の配布 ※読書手帳は50冊分記録できて、感想や満足度も記入できるもの 利用者が20冊と40冊を記録した手帳を提示した際には記念スタンプを押印し、50冊を記録した手帳を提示した際には裏表紙の達成証に押印	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和 5 年度の実績	新図書館システムでの読書記録機能の掲載 読書手帳：配布実績 405 冊 押印実績 20 冊 50 人 40 冊 37 人 50 冊 43 人 合計 130 人	
令和 5 年度の所感	今まで、本をたくさん読むモチベーションにつながるという声や、読書の記録ができて良いという声を聞いていたため、新図書館システムの読書記録機能が広く活用されることを期待している。	
令和 6 年度 以降の展開	令和 6 年度は図書館新システムの読書記録と読書手帳の配布を平行して実施する。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	本のおすすめリストの情報発信	
事業内容	おはなし会で読んだ本、関連本についての情報発信 各展示・各発行物へ掲載した本のリストの情報発信 市内で開催される講座の関連本の情報発信	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和 5 年度の実績	おはなし会で読んだ本、関連本：館内掲示 各展示・各発行物へ掲載した本：ホームページにて情報発信 市内で開催される講座の関連本：ホームページにて情報発信 ※ホームページをリニューアルし、情報を探しやすく工夫	
令和 5 年度の所感	本を自分で探すと偏ってしまうのでお勧め本を紹介してほしい、との利用者の声が多かったため、様々な角度から多くの本を紹介している。	
令和 6 年度 以降の展開	今後も継続実施して多くの本に出合う機会を創出していきたい。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	ミニコミ誌や SNS を使った情報発信	
事業内容	・毎月 3,000 部のミニコミ誌を発行し、本の紹介や行事の案内等、図書館情報を発信する。 ・SNS を活用し、館内の資料展示や開催事業の告知を行う。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和 5 年度の実績	ミニコミ誌：年間 36,000 部発行	
令和 5 年度の所感	図書館のイベントやお勧め本の紹介、郷土・地域資料の連載記事を掲載している。お勧め本の記事を見て、家族に読ませてあげたいとカウンターまで来られた方もおり、貸出につなげることができた。	
令和 6 年度 以降の展開	年間を通して、図書館内の機能やテーマ展示、利用方法などを紹介するコラムを掲載し、利用促進につなげる。	

基本方針 4 読書活動の推進体制の整備

子どもの読書活動を推進するためには、社会全体で総合的に推進しなくてはなりません。そのためには、家庭、地域及び学校をはじめとする子どもの生活を形成する関係機関が相互に連携・協力することが大切です。また、読書活動の推進を担う人材の連携・協力だけでなく、本や子どもの発達段階における特性など専門知識や技能などの資質向上も必要となります。これを踏まえ、連携や協力による新たな取り組みの創出や情報交換・共有を行うために、関係機関から形成する総合的な推進体制を整備していきます。

(1) 施策 1 読書活動に携わる人材の育成と支援

読書活動に携わる人材の資質向上を図り、情報や課題の共有、また、他の図書館などの関係機関や子どもの読書に関わる地域の団体等との連携に努めます。

●方策 1 読書活動に携わる人材の育成と支援

子どもの読書活動に携わる人材を育成するためには、教職員や本好きサポーター、図書館職員等への研修の機会の充実に努めるとともに、連携会議の実施により、課題の把握や情報共有を進め、図書館司書による学校図書館の活動支援に取り組みます。

●方策 2 ボランティアや関係機関・団体との連携

読み聞かせなどの活動を活発化させるため、ボランティアの資質向上を支援し、連携・協力するほか、各種活動の紹介などにより、関係機関や子どもの読書活動に関わる地域の団体との連携や情報の共有を図ります。

【教育政策室】

事業名	本好きサポーター(戸田市学校図書館図書整理員)の配置	
事業内容	市内各小・中学校に本好きサポーターを配置する。司書教諭と連携して、図書の管理や整理、読書活動の充実を図る。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 読書活動に携わる人材の育成と支援
令和 5 年度の実績	市内各小・中学校、全18校に1名ずつ配置。	
令和 5 年度の所感	4月、8月、1月に本好きサポーター研修会を実施した。有識者を講師として招聘し、ブックトークや読み聞かせ等について研修を行ったり、全国の実践事例をもとに協議や演習をしたりすることを通して、資質・能力の向上を図った。今後も、新たな取組の検討や各校の取組の共有、本好きサポーターの資質向上を目指した研修会の実施が必要である。	
令和 6 年度 以降の展開	継続して配置する。	

【保育幼稚園課】

事業名	おはなし会	
事業内容	4.5 歳児を対象に公立保育園全園(7 園)で毎月 1 回実施	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 ボランティアや関係機関・団体との連携
令和 5 年度の実績	おはなしボランティアさんにより年 5 回、4.5 歳児対象に 15 分程度わらべ歌や素話を聞く。	
令和 5 年度の所感	コロナ禍でおはなし会が中止になっていた為、初めて素話を体験し、話を聞いてそれを想像し楽しむことが少し難しい様子も見られた。回数を重ねることで、いつも同じ人がお話をしてくれる声の心地良さや、普段保育士が行っている読み聞かせとは違う楽しみとなった。	
令和 6 年度 以降の展開	各園 4.5 歳児対象で年 6 回実施予定。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	おはなしボランティア養成講座の開催	
事業内容	おはなし会の集会事業に協力いただけるボランティアの育成と、既に参加されているボランティアのスキルアップのための講座	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 読書活動に携わる人材の育成と支援
	施策 1/方策 2	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 ボランティアや関係機関・団体との連携
令和 5 年度の実績	初心者向け 5 回（市民大学講座） 経験者向け 1 回 合計 6 回開催	
令和 5 年度の所感	初心者向けの講座は、市民大学講座として広く参加者を募集し、内容は基本となる絵本の選び方と読み聞かせのポイント、読み聞かせの意義や具体的なプログラム作りなど、これから読み聞かせに取り組む人向けにとっても参考になる内容のもので好評だった。 また、経験者向けの講座はストーリーテリングの素材となるお話選び、覚え方の講義のあと、実際に実演して講評を受けるという実践的な内容のもので、実践者のスキルアップが図れた。	
令和 6 年度以降の展開	令和 6 年度は初心者向け 3 回（市民大学講座）、経験者向け 3 回の計 6 回開催するが、今後も市民講座とボランティアのスキルアップを両立できるよう工夫していきたい。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	あいパルサポーターズ倶楽部個人会員	
事業内容	上戸田地域交流センターを活動場所とし、地域コミュニティ活動の推進や交流の活性化を図るため、得意なことや興味のある分野で施設運営のサポートに協力いただく。	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 2	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 ボランティアや関係機関・団体との連携
令和 5 年度の実績	活動会員(図書館事業):6 名 ボランティア累計参加者数:87 名	
令和 5 年度の所感	おはなし会によるボランティア活動の場を提供した。ボランティアは子どもの興味関心を引き、読書の楽しみへとつなげるような絵本を選んだり、工作会のアイデアを出したりするなど工夫していた。	
令和 6 年度 以降の展開	事前にボランティアと年間のプログラムを話し合うことで、絵本の選定やプログラムの内容に工夫を凝らし、おはなし会の参加者に楽しんでもらえるよう努める。	